



1. 学科課程

学科専門教育科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年以上履修可	2年以上履修可	3年以上履修可	4年以上履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
入門科目	3510	経済学入門(経)	②				平井 廣一 中村 一浩 原島 正衛 濱野 文章 萱野 智篤 修野 震傑 浦野 真理子 野本 啓介 勝村 克仁 野村 敦 楠木 正広 斉藤 邊稔 渡邊 真樹 竹野内 正衛 原島 正務 勝村 敦仁 楠木 克仁 野原 裕 渡邊 稔 久村 隆裕 濱野 文章 吉田 かよ子 浦野 真理子 竹野内 真樹	オムニバス 「経済数学」「基礎経済史」「現代の国際社会」の3科目から2科目4単位を修得すること。
	3524	新聞活用	②				原島 正衛 勝村 敦仁 楠木 克仁 野原 裕 渡邊 稔 久村 隆裕 濱野 文章 吉田 かよ子 浦野 真理子 竹野内 真樹	
	3521	基礎経済学(経A)	④					
	3522	基礎経済学(経B)	④					
	3523	基礎経済学(経C)	④					
	3541	経済数学(経A)	2				渡邊 稔	アチーブメントテスト到達者クラス
	3542	(経B)	2				久村 隆裕	アチーブメントテスト未到達者クラス指定
	3543	基礎経済史	2				濱野 文章	
	3545	現代の国際社会(A)	2				吉田 かよ子	
	3546	(B)	2				浦野 真理子	
	3547	(C)	2				竹野内 真樹	
コース科目	基本科目	応用経済コース	ミク □ 経済学 I(経)		2			「応用経済コース」「社会経済コース」「グローバル社会コース」のそれぞれから2単位ずつを含め、基本科目から16単位を修得すること。
		ミク □ 経済学 II(経)		2	2			
		マク □ 経済学 I(経)		2	2			
		マク □ 経済学 II(経)		2	2			
		経済統計学 I		2	2			
	社会経済コース	経済統計学 II		2	2			
		社会経済学 I		2	2			
		社会経済学 II		2	2			
		社会経済史(A)		2	2			
		現代資本主義論		2	2			
グローバル誓言文	国際関係論 I		2	2				
	国際関係論 II		2	2				
	グローバル社会論 I		2	2				
	グローバル社会論 II		2	2				
	計量経済学			4				
発展科目	応用経済コース	量共境		4				
		環境経済学		4				
		金融経済学		4	4			
		財政経済学			4			
		農業経済学		2				
		産業経済学		4				
		組織経済学		2				

経済学部

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
コース科目 発展科目	応用経済コース	医療経済学 I			2		発展科目「社会経済コース」科目を履修するためには、基本科目「社会経済コース」科目から4単位を修得していなければならない。	
		環境証券論 II		2	2			
	社会経済コース	経西日社労文日信	2					発展科目「グローバル社会コース」科目を履修するためには、基本科目「グローバル社会コース」科目から4単位を修得していなければならない。
		経済学 I			4			
		西洋本会働化			4			
		思想経済学 I			4			
		政治経済学 II			4			
		国際経済学 I			2			
	グローバル社会コース	国際政治学 I			2			
		国際政治学 II			2			
		国際協力論 I			4			
		国際協力論 II			2			
グローバルガバナンス論				2				
現代アメリカ論				2				
演習科目	演習 I		②					
	演習 II			②				
	演習 III			②				
	演習 IV				②			
	演習 V				②			
	演習 VI				②			
総合科目	上級新聞活用			2		隔年開講（夏期・冬期集中） 隔年開講（夏期・冬期集中）		
	日本経済論ディベート I(A)			4				
	日本経済論ディベート II(A)			4				
	海外実習 I			2				
	海外実習 II			4				
	フェアトレード			4				
	中小企業論			2				
	会計入門(C)			2				
	簿記原簿 I(C)			2				
	日本史 I(前近代)			2				
	日本史 II(近現代)			2				
	世界史 I			4				
	世界史 II			4				
	地理学(A)			2				
	自然地理学(A)			2				
	地誌概説			4				
	現代政治学			2				
	現代社会学			2				
	現代社会学			2				
	宗教学(A)			2				
実践英語 I			2					
実践英語 II			2					
卒業論文				4				
北海道経済論(A)			4					
社会思想史(A)			2					
地方自治論(経社部)			2					
国際金融論			2					

	履修 コード	授 業 科 目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担 当 者	備 考
			1年次以上 履修可	2年次以上 履修可	3年次以上 履修可	4年次以上 履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
総合科目		経済学特論 I			2			
		経済学特論 II				2		
		国際経済特論			2			
		財務会計 I			2			
		財務会計 II				2		
		民法 I〔民法総則・物権〕				4		
		経済法			4			
		労働法			2			
		商法 II〔会社法〕			4			
		商法 III〔手形法・小切手法〕				2		
	時事英語 I			2				
	時事英語 II				2			
認定科目		海外インターンシップ I		2			経済学生のみ履修可 経済学生のみ履修可	
		海外インターンシップ II		2				
		上級外国語 I (単位認定)			2			
		上級外国語 II (単位認定)			2			



2. 卒業に必要な単位

1. 大学共通科目

35～46ページを参照のこと。

2. 外国語科目の単位認定

197・198ページを参照のこと。

(A) 大学共通科目¹

大学共通科目は、人間科学、人文科学と人間、自然・科学技術・人間、社会と人間、地域と文化、宗教と文化、演習科目、総合講義、キャリア教育関連科目、外国語からなる。

- (1) 人間科学
この分野から2単位以上を修得すること。
- (2) 人文科学と人間
この分野から2単位以上を修得すること。
- (3) 自然・科学技術・人間
この分野の統計学Ⅰ、数学Ⅰ及び数学Ⅱの3科目の中から、2科目4単位を修得すること。
- (4) 社会と人間
この分野から2単位以上を修得すること。
- (5) 地域と文化
この分野から2単位以上を修得すること。
- (6) 宗教と文化
キリスト教文化及び諸宗教文化の各分野から1科目2単位、計2科目4単位以上を修得すること。
- (7) 演習科目
修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
- (8) 総合講義
修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
- (9) キャリア教育関連科目
キャリア教育の分野から、職業と人生Ⅰ1科目2単位を修得すること。日本語科目分野から、日本語表現Ⅰ1科目2単位及び日本語表現Ⅱ1科目2単位を修得すること。情報科目分野から、情報入門1科目2単位、及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱのいずれか1科目2単位をあわせた、計2科目4単位を修得すること。なお、これらの科目は1年次に修得することを原則とする。また、情報活用ⅠとⅡの重複履修はできない。
ハードウェア基礎及びソフトウェア基礎の履修は、情報入門及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱの2科目4単位の修得を条件とする。
- (10) 外国語
 - 1 英語Ⅰ・Ⅱの2科目4単位を修得し、加えてドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱのいずれか2科目4単位を修得し、さらに英語Ⅲ・Ⅳの2科目4単位か、上記で選択した英語以外の外国語科目のⅢ・Ⅳの2科目4単位を修得すること。
 - 2 検定により認定される。詳細は「[外国語科目の単位認定²](#)」の頁を参照すること。
 - 3 英語Ⅰ・Ⅱを含む自分が選択した言語12単位修得後、3年次以降に別の言語を履修することもできる。

(B) 学科専門教育科目

下記の要領で履修し合計68単位以上を修得しなければならない。

- (1) 『入門科目』から必修8単位及び選択必修4単位、計12単位を修得すること。
- (2) 『コース科目』の『基本科目』から16単位を修得すること。その際、各コースから2単位以上を修得すること。
- (3) 『コース科目』の『発展科目』の各コースの科目を履修するには、『基本科目』の当該コースの科目から4単位を修得すること（積上指定）。
- (4) 『コース科目』の『発展科目』から14単位を修得すること。
- (5) 『演習科目』から必修12単位を修得すること。
- (6) 『総合科目』から4単位以上修得すること。
- (7) 上記で修得していない『入門科目』『コース科目』『総合科目』の中からと『認定科目』の中から、10単位を修得すること。

- (8) 『認定科目』については、別途、認定方法について定める。
- (9) 履修登録の条件が指定されている科目が「C 積上指定科目」として次頁に示されているので、必ず確認すること。
- (10) 卒業論文の履修は、履修登録時において90単位以上を修得していることを要件とする（必ず4月に履修登録すること）。詳しくは、「卒業論文¹」の頁を参照すること。

(C) 積上指定科目

- ・『コース科目』の『発展科目』の各コースの科目を履修するには、『基本科目』の当該コースの科目から4単位を修得すること。
- ・履修登録の条件
 1. 発展科目、および、3年次以上配当の総合科目を履修登録するには、以下の条件をクリアすること。

条件) 2年次後期までに、下記の英語に関する試験を受検し、受検結果を提出すること。
TOEFL, 学内 TOEFL, TOEIC, 実用英語技能検定試験, ケンブリッジ英語検定, ELTS, 国際連合公用語英語検定試験
 2. 1年次のオリエンテーション期間に実施する数学アチーブメントテストの結果に従い、経済数学を以下のように履修すること。

合格者) 経済数学を履修する場合は(A)クラスを選択すること。
不合格者) 必ず経済数学を修得すること。その際、(B)クラスを受講すること。

(D) その他

- (1) 『大学共通科目』及び『入門科目』『コース科目』の『基本科目』『発展科目』『演習科目』『総合科目』『認定科目』で修得すべき単位106単位以外に必要となる18単位は、上記の修得すべき単位106単位として修得した授業科目以外の大学共通科目、学科専門教育科目、経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目²から算入できる。なお、卒業単位計算上、修得した科目の単位数を分割して算入することができる。
- (2) 他学科専門教育科目は50ページに掲載されている科目のみ、履修登録することができる。
- (3) 副専攻科目³については、副専攻課程の履修を許可された場合には、修得した科目は全て、卒業単位の総単位に算入できる科目となる。
- (4) 4年次には、4単位以上を履修すること。
- (5) この(A)(B)(D)のことについて、「(E) 卒業単位表」に分かりやすく表で示してあるので参照のこと。

3. スクリーニング

特に定めない。

1. 卒業論文

175～177ページを参照のこと。

2. 経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目

47～54ページを参照のこと。

3. 副専攻科目

215～223ページを参照のこと。



(E) 卒業単位表 (卒業に必要な最低単位数)

		単 位 数					
		必 修	選 択				
大 学 共 通 科 目	人 間 科 学			2単位			
	人 文 科 学 と 人 間			2単位			
	自 然 ・ 科 学 技 術 ・ 人 間	数学I, 数学II, 統計学I		4単位			
		上記以外の科目					
	社 会 と 人 間			2単位			
	地 域 と 文 化			2単位			
	宗 教 と 文 化	キ リ ス ト 教 文 化		2単位			
		諸 宗 教 文 化		2単位			
		演 習					
	演 習 科 目						
	総 合 講 義						
	キ ャ リ ア 教 育 関 連 科 目	キ ャ リ ア 教 育	2単位				
		日 本 語 科 目	4単位				
		情 報 科 目	2単位	2単位			
外 国 語		4単位	8単位				
計		12単位	26単位				
学 科 専 門 教 育 科 目	入 門 科 目		8単位	4単位			
	コ ー ス 科 目	基 本 科 目	応 用 経 済 コ ー ス	2単位	10単位		
			社 会 経 済 コ ー ス	2単位			
			グ ロー バ ル 社 会 コ ー ス	2単位			
	コ ー ス 科 目	発 展 科 目 ※	応 用 経 済 コ ー ス		14単位	10単位	
			社 会 経 済 コ ー ス				
			グ ロー バ ル 社 会 コ ー ス				
	演 習 科 目		12単位				
	総 合 科 目			4単位			
	認 定 科 目						
計		20単位	14単位	24単位	10単位		
経済学部他学科専門教育科目							
他学部他学科専門教育科目							
国際交流関係科目							
副 専 攻 科 目							
計		32単位	40単位	24単位	10単位	18単位	
合 計			124単位			124単位	

(注) 18単位
大学共通計
38単位

専門教育計
68単位

(注) この18単位に、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位までである。

※ (積上指定科目)「コース科目」においては、各コースの3年次に配当されている「発展科目」を履修するためには、当該コースの2年次配当の「基本科目」4単位を修得していなければならない。